



# どらむ 分水児童館「童楽夢」だより2月



燕市分水児童館「童楽夢」令和2年2月1日

お家の人と一緒に遊びに来ている乳幼児や低学年の子どもたちが、遊具の取り合いでトラブルになっていたりと、ほとんどの保護者の方は「貸してあげなさい」と言ったり、取り上げて「はいどうぞ」と貸したりしている様子を目にすることがあります。相手の子に対して優しくしてほしいと願う大人の気持ちはわかるのですが、それによって子どもの遊びが中途半端になってしまい、泣いたり、ぐずったりしている事が多々あります。そんな時には貸してあげるという選択肢だけではなく、その時の子どもの気持ちに寄り添い相手の子に「もう少し遊びたいみたいだから〇分待ってもらってもいい?」「次は〇〇ちゃんに貸すからね」と断るといった選択肢もありその具体的方法を教えることも必要なことだと思います。ゆえに、自分の気持ちを相手にどのように伝えるかということが重要になると思いますが、小学生の子ども達の会話を聞いていると単語でのやり取りが多いのが現状なので、複雑な自分の気持ちを相手にうまく伝えることが出来ていないとも思います。ですから、できるだけ普段から自分の思いを言葉にして相手に伝えたり、聞く立場になったりなど、話し合うということがとても大切で重要なことだと感じます。

「貸して」と言われたら「貸してあげる」「入れて」と言われたら入れてあげる事が友好的な人間関係を築けるのかもしれませんが、でも出来ない場合もあります。そんな時は相手を思いやる気持ちを尊重した上で、その時の自分の気持ちを素直に相手に伝えることが大切で必要なことだと感じます。遊びのなかで嫌な思いをした事もあったけれども、その反対もあり楽しく遊んだという相互の経験を通し、断ったり断られたりしても成り立つ人間関係や友達関係づくりを育むことが大切な事だと思います。



## 児童館「童楽夢」からのお知らせ



### ———お知らせ①——— 分水児童館ダンスフェスティバル

❖日時……2月16日(日) 午前9時00分～11時30分

❖場所……分水公民館大ホール

パフォーマンスしたいダンスの好きな人を募集しています。友達、家族、仲間チームを組んで参加しませんか  
(希望者はエントリー用紙を分水児童館に提出してください)

連絡問合せ先: 分水児童館 Tel.0256-97-2126 fax0256-97-2137

### ———お知らせ②———

令和元年台風第19号災害義援金として「分水児童館復興支援バザー」から5万円を寄付することができました。コツコツと手づくり作品をつくって下さる「手づくりの会」のみなさん、日用雑貨、おもちゃ、衣料品などをご寄付下さった方々、そして購入下さった方々ありがとうございました。児童館ではこれからもみなさんと共に「自分達の出来る事」を続けていきます。そしてそんな大人の姿勢を子ども達が見て何かを感じ、いずれ同じように当たり前のこととして活動できるようになってほしいと願っています。これからも児童館利用の皆様や地域の皆様とともに、さらに大きな支援の輪が広がっていきますように長～く続けていきます!



## 分水子育て支援センター「おんぶにだっこ」

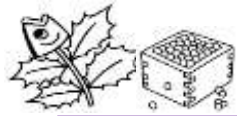
1月の子どもとお家の方は、「あけましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます」と、新年の挨拶をすると丁寧に辞儀をしていました。子ども達は付き添いの大人に促されてしているのですが、そのしぐさがとても可愛く「上手！上手！」と褒められ、挨拶することの心地よさを感じているようでした。支援センターの大人も子どもも気持ちの良い挨拶を当たり前に行っていますが、そんな挨拶環境や会話を大切に子どもたちとしっかりと向き合い育んでいきましょう。……「挨拶はお友達の始まり」……「挨拶は人と人の関わりの始まり」……



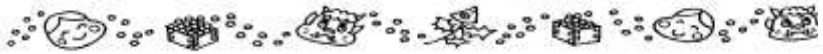
1、2週間会っていただけなのに、ハイハイだった子が立ち上がり、よちよち歩きの子どもたちは足元がしっかりしていたり、3歳児は早く走れるようになっていたりなど、その成長の早さに驚いています。これからも日ごと変わっていく子どもたちの成長を楽しみつつ、少し先の危険を予測し伝えるべきことをしっかり伝えていきましょう。

風邪やインフルエンザなどの感染症が流行っています。体温、食事やおやつを食べ具合、遊びの様子、尿の量や便の状態、機嫌など「いつもと違う！」という子どもの些細な変化に気をつけ体調管理をしていきましょう。心配な時には外出を控え早めに受診するなど親子、家族で体調管理に努めましょう。また外から帰った時や食事の前には、両手を丁寧に洗えるよう大人がお手伝いをしながら一緒に行いましょう。

無理がないようにうがいの練習もしていきましょう。



## 分水児童クラブ



児童クラブの活動目的の一つに「学習習慣の定着」があります。

児童クラブで大切にしているのは、宿題を終わらせることを目的にするのではなく、学習習慣と学習意欲を身に付けてもらうことに重点を置いて個々に合わせた関わりを行っています。

1年生は日々の生活リズムが定着しつつあり、自主的に筆入れと宿題を出して机に向かえるようになりました。2年生以上の子ども達は、学年が上がるにつれて宿題の量が増えたり、難しくなったりして「ぶつぶつ」言いながらも頑張ってなんとか終わらせています。成長するにつれ大人の目も手も届きにくくなる上に、自我が強くなる子ども達にしてあげられることは「やらせる」学習ではなく、毎日の食事と同じように学習を行う習慣と自ら行おうとする意欲を育てる事だと思います。そのためには成功体験と日々の大人の関わりがとても重要なのだと感じています。

家庭に帰り宿題を確認した際には、頑張りを認め 子どもが「よし！明日も頑張ろう」という気持ちになれるようなごほうび言葉をかけてあげましょう。



冬休み最後の日に「お買い物おやつ」や「おやつ釣り」などサプライズおやつ会を行いました。上級生が店員になり1年生のおよつの計算を手伝ったり、釣竿でアイスクードを釣り上げ品物と交換したり等、食べる前のお楽しみの前に子ども同士の関わりや一人一人の工夫が見られました。これからも、ただ食べるだけではなくおやつを通してたくさんの学びや気づきや楽しみがあるように色々な工夫をしていきたいと思っています。

1月のおやつ・・・ホットドリンク(ココア、紅茶、抹茶)・オレンジジュース・焼きイモ・肉まん・コロケ・パン

ヨーグルト・バームクーヘン・ミニゼリー・あげせん・アイス

